



NEDO Challenge

製造業DX

製造技能の伝承・新たな製造ノウハウの構築を
デジタルで実現せよ

背景・目的	2
1. 全体プロセス	3
2. 募集テーマ	6
3. 懸賞金	9
4. 事業参加者への支援	11
5. エントリー・応募方法	16
6. スクリーニング・審査方法	19
7. 表彰および懸賞金の支払い	24
8. 詳細内容とご質問	26

背景・目的

懸賞広告の件名

NEDO懸賞金活用型プログラム
製造事業者の業務ノウハウを形式知化するデジタルソリューション開発
NEDO Challenge, 製造業DX
～製造技能の伝承・新たな製造ノウハウの構築を
デジタルで実現せよ～

- 我が国製造業では、喫緊の社会課題（人手不足、脱炭素、循環経済等への対応、及び経済成長の両立）に直面する中、熟練者に依存した技能・ノウハウに基づく工程が多く存在します。
- 本プログラムでは、熟練者の高齢化に伴う製造技能の伝承、製造工程の革新や製造システムの開発・導入に伴う新たな製造ノウハウの構築をテーマとして、懸賞金活用型のコンテストを実施します。製造技能・ノウハウを形式知化するデジタルソリューションを開発・普及することで、業務効率の改善、アウトプットの質向上、熟練者の退職に伴う技能喪失の防止を進めるとともに、製造事業者が保有する技能・ノウハウをデジタルソリューション化し外販する事業者を創出することで、新事業と付加価値の創出に繋げ、もって我が国の製造業の競争力強化および経済成長への貢献を目指します。

1. 全体プロセス

全体プロセス

- 本事業では、2段階の審査を行います。
 1. 公募により開発案件のエントリーを募集し、書面によるスクリーニングを行い、開発に参加いただく案件を選定します。
 2. 選定された開発案件は、約11カ月の開発期間後に開発成果の審査(コンテスト)を行います。最終審査は、開発者によるプレゼンテーションを公開形式で行い、応募テーマごとに1位から3位の順位を決め表彰し、賞金を交付します。
- 開発期間中は、事務局によるメンタリング(伴走支援)を通じて、開発するソリューションのプレゼンス向上や、ソリューションの事業化戦略検討に関するアドバイス等を実施します。
- 表彰終了後、全ての開発案件の成果について、技術解説資料(リーフレット)を作成します。技術解説資料は、専用サイトやその他の広告媒体等によって広報します。また、開発案件の成果と、当該ニーズのマッチングについてアドバイス等を実施します。

全体スケジュール



<u>公募期間:</u>	<u>2025年3月18日(火)～5月20日(火)</u>
スクリーニング:	2025年5月下旬(予定)
開発期間、メンタリング:	2025年6月～2026年4月(予定)
開発成果審査(コンテスト):	2026年4月～2026年5月(予定)
受賞者決定、表彰式:	2026年5月(予定)
技術解説資料の広報、アドバイス等:	2026年6月～2026年7月(予定)
懸賞金交付:	2026年7月(予定)

2. 募集テーマ

募集テーマ1

テーマ1:製造技能の伝承に関するデジタルソリューション開発

【背景】

熟練者の高齢化・退職に伴い、設備・製品の状態に応じた設備オペレーション・高度な手作業といった製造技能の伝承、製造現場の持続性・発展性への懸念が広く存在します。

【募集内容】

製造技能の伝承に係る新たなデジタルソリューションの開発案件を募集します。
募集対象には、製造技能のデジタル化に限らず、機器開発、効果的な技能伝承支援等も含めます。

【製造事業者の課題例】

- 品質平準化のための設備・製品の状態に応じた設備オペレーションが属人化している。
- 熟練者の技能の形式知化、伝承の仕組み・ツールが整っていない。

募集テーマ2

テーマ2:新たな製造ノウハウの構築に関するデジタルソリューション開発

【背景】

製造現場では、生産性向上、少量多品種対応等に向けた製造工程の変革や、新たな生産システムの開発・導入が日々進められており、新たな製造ノウハウが生まれつつあります。

【募集内容】

製造工程の変革や生産システムの開発・導入に伴う、新たな製造ノウハウの構築を促進するデジタルソリューションの開発案件を募集します。

【製造事業者の課題例】

- 製造工程における製品の状態遷移などの過程の可視化、製造オペレーションの最適化が不十分。
- 設備保全において、設備状況や異常予兆を把握しきれず、部品交換や故障対応等での設備停止が長期化。

3.懸賞金

懸賞金額

- 懸賞金の額は、テーマごとに次のとおりです。

賞金総額：3000万円

懸賞金の額は、次のとおりです。テーマ1、テーマ2それぞれの受賞者に交付します。

テーマ①

製造技能の伝承に関するデジタルソリューション開発

テーマ②

新たな製造ノウハウの構築に関するデジタルソリューション開発



1000万円



400万円



100万円

4. 事業参加者への支援

事業参加者への支援策・支援内容

- 本事業の参加者(スクリーニングの結果、選定された案件の申請者)に対して、共同研究の実現に向けた以下の支援策を実施します。

支援策
ウェブサイトへの情報掲載
本事業専用名刺の作成
メンタリング
ビジネス化セミナーの開催
製造事業者や研究機関関係者等とのコミュニケーションの場の開催
技術解説資料の作成・広報

ウェブサイトへの情報掲載/本事業専用名刺の作成

「ウェブサイトへの情報掲載」

- 専用サイトにて懸賞金候補者を紹介します。(画像は過去のNEDO懸賞金活用型プログラムの例)



「本事業専用名刺の作成」

- 本事業の名称、並びに懸賞金候補者であることを示した名刺を作成・配布します。



表面



裏面

メンタリング/ビジネス化セミナーの開催

「メンタリング」

- 開発するソリューションを効果的にアピールするための成果の取りまとめ方法のアドバイスや、開発したソリューションの将来的な展開先の検討などといった、事務局のメンタリングによる伴走支援を実施します。

「セミナーの開催」

- スキルセットの増強(開発、専門性、事業化など)を目的としたウェブセミナーを計3回程度開催します。

講演テーマ案(予定)
製造業におけるデジタル技術の実装事例
新技術の訴求手法
新技術の開発・事業化における知財戦略

コミュニケーションの場の開催/技術解説資料の作成・広報

「コミュニケーションの場の開催」

- 製造事業者や研究機関関係者等と直接対話・コミュニケーションできる場を提供します。研究開発成果のプレゼンと表彰はコンテスト会場で公開形式により行い、傍聴参加者を広く募集します。
- 傍聴参加者への研究成果のパネル展示やデモンストレーションを実施できる展示会場を、コンテスト会場と同一のホールに併設します。コンテスト終了後は、展示会場で傍聴参加者との懇親会を実施します。



展示会場 ※イメージ

「技術解説資料の作成・広報」

- コンテスト後の共同研究創出・ビジネス化検討のために、懸賞金候補者が開発した成果について、技術解説資料（リーフレット）を作成します。技術解説資料は専用サイト、Google検索広告、Facebook、その他広告媒体の活用といった、幅広い周知活動を行います。また、開発案件の成果と、当該ニーズのマッチングについてアドバイス等を実施します。

5. エントリー・応募方法

応募資格

- 応募資格は以下の条件を満たす者としてします。
 - ① 応募者は日本国内に籍を有する者(法人、個人、グループ)とし、当該応募者が日本国内に本申請に係る主たる技術開発のための拠点を有していること。ただし、国外の籍を有する者(企業、大学、研究機関を含む)の特別な研究開発能力・研究施設等の活用、又は国際標準獲得の観点から国外企業等との連携が必要な場合は、国外企業等との連携により応募することができることとする。国外企業等との連携グループにより応募する場合は、我が国に籍を有する者を責任者として設置すること
 - ② 事業管理上、NEDOの必要とする措置を適切に遂行できること
 - ③ NEDO「懸賞金の交付等に関する規程」第5条(応募者の暴力団排除に関する誓約)の事項(※詳細は公募要領をご確認ください)のいずれにも該当しないこと
 - ④ 企画運営事業者(株式会社三菱総合研究所)と利害関係(※詳細は公募要領をご確認ください)にないこと
 - ⑤ 応募締切日時までに開発成果を提出すること
 - ⑥ 「補助金交付等停止措置」に該当中の者ではないこと(「補助金交付等停止措置」の該当者はNEDO HP内に掲載されている者とする)

エントリー・応募方法



- 本事業への参加希望者は、「応募資格」を満たしていることを確認し、事務局の指定する様式に従って、期限内に指定された方法でエントリーしてください。なお、提出する成果が、2026年4月時点で、「国の競争的研究費(内閣府の「競争的研究費制度」に該当するもの)」のみで作製されたものの場合、提出を受け付けません。

公募期間 (エントリー期間)	公募開始:2025 年 3月 18日 公募締切:2025 年 5月 20日 正午
応募方法	下記の専用サイト「応募方法」に記載がございます。 専用サイト: https://www.manufacturing-dx-challenge.nedo.go.jp/apply.html
様式	専用サイトに「申請書類ダウンロード」の項目がございます。(様式1～3)をダウンロードして記入してください。 (様式1):申請書 (様式2):利害関係の確認について (様式3):提案書 記入は日本語をお願いします。法人としてエントリーする場合で、(様式1)へのURL記載がない場合、法人の紹介カタログや定款等、事業の概要が分かる資料を提出してください。また、(様式3)の記載内容を補足する製品紹介カタログ等がある場合には提出いただいても構いません。
申請先	専用サイトに「提出方法」の項目に申請フォームがございます。専用フォームより(様式1～3)記入済みファイルをアップロードし、事務局に申請してください。補足資料も申請フォームより提出可能です。

6. スクリーニング・審査方法

スクリーニング・審査概要



- 民法に基づき、以下の審査を経て決定した受賞者に懸賞金を支払います。
- 審査は、当該領域の有識者で構成する審査委員会を設置し、スクリーニングと開発成果審査の2段階で行います。
- スクリーニングは、申請書類に基づいて目標水準を満たしているかを審査します。ただし、目標水準を満たしている開発案件が多数の場合は、別途設定した審査基準に従い、テーマ毎に最大9件を選定します。1つのテーマで目標水準を満たす開発案件が9件に満たない場合は、2つのテーマ合わせて最大18件を選定します。
- スクリーニングを通過した開発案件の申込者のみに、本事業の参加者としてデジタルソリューションの開発を進めていただきます。
- 開発期間終了後に開発成果審査を行い、各テーマで1位から3位を決定し、懸賞金を交付します。開発成果審査への応募書類は、本事業の参加者に対して、2026年2月に送付します。提出の締切は2026年4月を予定していますが、詳しい日時は応募書類の送付の際に通知します。
- 開発成果審査は、書類による審査とプレゼンテーションによる審査を行います。書類による審査では、必要に応じて「公募要領 5.4審査委員」に示す審査員の立ち合いによる開発成果のヒアリングやデモンストレーションの実施、および追加資料の提出を求めることがあります。
- 事務局にて設定する締切日時までに、開発成果審査に係る応募書類の提出がなかった場合や、審査の結果、「公募要領 5.2スクリーニング・審査基準」に示す基準を満たす開発案件がなかった場合等には、「受賞者該当なし」となる場合があります。

スクリーニング目標水準・審査基準



- スクリーニングの目標水準は以下で、2テーマ共通です。

スクリーニングの目標水準

- 2025年3月時点で一般販売されていないソリューションである。
※ただし、既に一般販売されているソリューションへの追加的や、機能改善を行いバージョンアップする等、本事業を通じ新たな技術開発を行う計画であれば申請可能。
- 開発成果審査時点で応募するソリューションの効果の確認が可能である。
- 製品化時、ソリューションを利用・管理する人が、高度かつ専門的な知識を必要としないソリューションである。
※ただし、ソリューションの定期的なアップデート、保守のための作業・サポートについては高度かつ専門的な知識が必要であってもよい。

- スクリーニングの審査基準は以下で、2テーマ共通です。

スクリーニングの審査基準

- ソリューションは、独創性があるか
- ソリューションは、幅広い領域・業界に適用が期待されるか

※スクリーニングを通過した開発案件については、NEDOホームページ及び専用サイトにて、開発案件名と代表者名を公表します。また、エントリーされた全ての方へはスクリーニングの通過・不通過を電子メールにて通知します。

開発成果審査基準



- 開発成果の審査基準は以下で、2テーマ共通です。

開発成果の審査基準

- ①有用性:製造事業者等への費用対効果の大きさ
(導入付加価値、初期コスト・運用コスト、作業品質の維持・向上効果、事業継続性の向上効果、省エネ効果等)
- ②利便性:ユーザーフレンドリーさ
(使用環境での利活用の容易性、利用者の納得感等)
- ③安全性:サイバーセキュリティ、物理的な安全性等
(システムの機密性・可用性・完全性、製造現場の安全性の維持・向上等)
- ④独創性:競合サービスからの優位性、アイデアの独自性等
- ⑤社会的効用:我が国産業競争力への寄与、環境面の影響等

※開発成果審査の結果、各テーマで1位から3位を獲得した開発案件については、NEDOホームページ及び専用サイトにて開発案件名、代表者名を公表します。

審査委員



- NEDO が交付する懸賞金のコンテストの審査は、当該課題領域の有識者等で構成する懸賞金交付等審査委員会を設置して実施します。なお、審査員のうち、各応募者と利害関係を有する者は、その応募者についての審査から外れることとします。

氏名	所属・役職
大坂 弘美	MHI Executive Experts株式会社 シニアテクニカルアドバイザー
大塚 孝信	名古屋工業大学 准教授 名古屋工業大学 共創IoT基盤システム研究所 所長
志田 敬介	慶應義塾大学 准教授
多喜 義彦	システム・インテグレーション株式会社 代表取締役社長
登 大遊	独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)産業サイバーセキュリティセンター サイバー技術研究室長

※審査員は今後追加する可能性があります。

7.表彰および懸賞金の支払い

表彰方法/懸賞金分配・支払方法



「表彰方法」

- 表彰は、開発成果審査にて決定する、各テーマで1位から3位となった参加者に対して、コンテスト会場で公開形式により行います。

「懸賞金分配方法」

- 同位受賞者が複数存在した場合は該当順位の懸賞金額と、該当順位から受賞者数分の下位の懸賞金額を合計し、受賞者数で割った額をその順位の新しい懸賞金額とします。なお、金額が受賞者数で割り切れない場合は、1,000円以下の額を切り捨てた金額を新しい懸賞金額とします。(例:1位に2者が特定された場合、1位の懸賞金額と2位の懸賞金額を合計し、これを2で割った額が新しい懸賞金額となります。)

「懸賞金支払方法」

- 懸賞金は、受賞者決定後に受賞者からの請求書の提出をもって、受賞者にNEDOが一括で支払います。請求書の提出については、別途受賞者へ事務局から案内いたします。
- 懸賞金の受領後に必要な税務等の手続きについては、受賞者が適切に対応してください。
- グループでの受賞の場合は、代表者が請求書を提出してください。NEDOは代表者の指定先口座にグループへの懸賞金全額を振り込みます。

8.詳細内容のご質問

ご質問の受付

- 公募内容の詳細については、WEB ページ上の公募要領の記載内容をご覧ください。
WEB ページ: <https://www.manufacturing-dx-challenge.nedo.go.jp/>
- よくあるご質問は専用サイト「FAQ」に公開しております。
<https://www.manufacturing-dx-challenge.nedo.go.jp/apply.html#mv7>
- 【お問い合わせ】
ご質問事項は以下の事務局あてに電子メールにてご提出ください。
NEDO Challenge, 製造業DX 事務局
(株式会社三菱総合研究所 社会インフラ事業本部内)
メール: [knowledge-prize-inquiry\[at\]ml.mri.co.jp](mailto:knowledge-prize-inquiry@ml.mri.co.jp)
メールアドレスは、【at】を@に変更してください。

※ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。